

EToS SYMPOSIUM

# 江戸東京のトポグラフィー — 地図・鳥瞰図・景観画からみる『地誌』

トポグラフィー / トポグラフィア (英 Topography・伊 Topografia) は、第一には「地形学」のことを指す言葉です。本シンポジウムでは、この用語を、歴史的・文化的・社会的に幅広くとらえることとし、空間や景観の表現やその利用の在り方に注目するためのキーワードとして使うことにしました。その際、地表面に展開する自然環境と人間活動の関係を読み解くために、そのイコノグラフィカルな表現としての地図、鳥瞰図、景観画などを素材として、具体的に論じていきます。

各報告者による様々な論点を踏まえながら、人々による都市の空間認識やその表現、それらの社会的な利用や意義を明らかにし、江戸東京の新しい「地誌」研究の方法論を模索していきたいと思います。

## ■趣旨説明 13:00～13:05

米家志乃布 | 法政大学教授 / 法政大学江戸東京研究センター長

## ■基調講演 13:05～13:50

陣内秀信 | 法政大学名誉教授 / 法政大学江戸東京研究センター特任教授

「江戸東京のトポグラフィア・アンティカ (Topografia antica) ー 日伊比較の視点から」

## ■講演 13:50～16:00 (各講演40分)

[講演1] 13:50～14:30

若林芳樹 | 東京都立大学名誉教授 / 日本地図学会会長

「デジタル地図で読み解く東京の今昔 (いまむかし)」

## 休憩 14:30～14:40 (10分)

[講演2] 14:40～15:20

大田暁雄 | 武蔵野美術大学教授

「見えない都市の描き方 ー 主題地図とヴィジュアルイゼーション」

[講演3] 15:20～16:00

今和泉隆行 | 地理人研究所代表・空想地図作家

「空想地図から考える地図表現と都市形成史」

## ■コメント・討論 16:00～17:00

司会

米家志乃布

16:00～16:30

コメンテーター

森田喬 | 法政大学名誉教授 / 法政大学江戸東京研究センター客員教授

16:30～17:00

質疑応答・まとめ

35.6962714 139.741464

2026.02.28.Sat 13:00-17:00  
法政大学 市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート G503

## 江戸東京のトポグラフィー — 地図・鳥瞰図・景観画からみる『地誌』 開催概要

主催 | 法政大学江戸東京研究センター  
開催日時 | 2026年2月28日(土) 13:00～17:00 (開場12:30)  
会場 | 法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート G503  
参加費 | 無料  
開催方式 | 会場(対面) およびオンライン (Zoom) を併用  
参加方法 | 事前申込制

事前申込が必要です。下記の申込フォームから申し込んでください。

申込フォーム | <https://forms.gle/PRLA19iomamwTab5A>



申込フォーム



法政大学

EToS  
江戸東京研究センター  
Hosei University Research Center for  
Edo-Tokyo Studies

【問い合わせ先】  
edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp